

下郷中 PTA 会報

令和4年度
後期
第96号

編集発行
下郷中学校
父母と教師の会
編集発行
会長 本島大輔
編集発行
広報委員会

- PTA 副会長より 一面
- 校長より 一面
- 各委員会より 二面
- 三年生の先生方より 二面
- 子から親へのメッセージ 四・五面

1年間を 振り返って

副会長
五十嵐 芳

を送っています。先生方にはこの多感な時期に寄り添っていただき、本当に感謝しております。一年間大変お世話になりました。ありがとうございます。

1年間を 振り返って

副会長
星 忠邦

1年間、PTAの副会長を務めさせていただき、PTA役員の皆様、保護者の皆様、先生方のご協力のおかげで無事に役目を果たす事ができました。初めに感謝申し上げます。初めての副会長という大きな仕事をいただき、至らない所も多々あったとは思いますが、とても貴重な一年間でした。

まだまだコロナ禍ではありますが、少しずつ色々な事が緩和され、学校行事も以前の様に行われ、下中祭での生徒全員が一丸となり一生懸命頑張る姿にとっても感激しました。三年生においては、修学旅行も以前の様に楽しく思い出に残る旅行となったのではないかと思います。

子供達は色々な悩みを抱え、乗り越えながら学校生活

した。また、日頃から感染予防対策に気を配って頂き、子供達も安全、安心して登校できた事、感謝申し上げます。

子供達には、たくましく育ち、希望のある将来へ突き進む為に、出来るだけ多くの選択肢をもってもらいたいと考えています。自分の思い通りにいかないことも多々あることと思います。その時に、色々な選択肢の中から選び考える力を身に付けて欲しいと思います。

最後に、会長を始め、先生方、役員の皆様、保護者の皆様、一年間大変お世話になりました。ありがとうございます。

あいさつが いっぱい の学校

校長
我妻 雄比古

今年度も残りわずかとなりました。昨年に比べると積雪も少なく、天気の良い日は雪解け水の流れる音が響くよ

うになりました。

さて、毎朝、冷たい寒風にあたりながらも、生徒会役員と規律委員が生徒玄関前で、登校してくる生徒に対して、あいさつをしています。そのあいさつの交わり方も様々で、相手に対して「先にあいさつする」「後からあいさつする」「立ち止まってあいさつする」「お辞儀しながらあいさつする」「ちょこんと頭を下げる」など十人十色です。

2学期の全校集会で生徒に向けて次のことを話しました。

あいさつがいっぱいの学校は、笑顔も、元気も、優しさもいっぱいになる。

あいさつをするときは、「あ」「い」「さ」「つ」の頭文字をつなげて、次のようなことを意識してみてください。

「あ」・・・明るく
「い」・・・いつでも
「さ」・・・先に
「つ」・・・続けて
これらのことを心がけると、さらに気持ちがよく自

分の心も満たされて元気になります。あいさつがいっぱいの学校は、自分にも皆にも元気を与えてくれます。あいさつがたくさん交わされる元気いっぱい学校にして欲しいと思います。春はもうすぐそこまで来ていますが、まだまだ寒い日が続きますのでお体を自愛ください。最後になりますが、毎朝、教頭先生が各教室や職員室のヒーターをつけて温めてくれてます。感謝！



各委員会より

触れ合うことの
必要性

厚生委員長 一柳 光市

「あれ、厚生委員の仕事って何だっけ?」と考えてしまうくらい、ほとんど何も活動出来なかつた一年でしたが、唯一実施できたのが親子奉仕作業でした。三年ぶりに行われた事もあり、下中そのものが、三日ぶりにお風呂に入れたような、三カ月ぶりに床屋さんに行ったような、そんな爽快感を感じたに違いありません。作業をする子供たちの眩しい笑顔と同様に、すっかりキレイになった下中の敷地内全体が微笑んでいるように見えました。

コロナ禍になつてからは、PTAという会は存在しても、その中で人との繋がりは全く無くなつてしまい、保護者と先生方の交流はもちろんのこと、保護者同士の親交も無く、ただただ寂しい会となっていました。

そんな中で実施できた奉仕作業、短い時間ではありましたが、子供たち、先生方、保護者が一堂に会し、汗をかき、会話を楽しみながら、親睦を深められた



ことが喜ばしく、とても有意義なものとなりました。触れ合うことの必要性を改めて感じることができました。

『PTA』の皆さん、ご協力本当にありがとうございました。

来年度は、もつとみんなの笑顔が見られる機会が増えますように…。

多くの方に参加し
てもらえる活動に

研修委員長 星 八千代

毎年恒例の「我が家のふれあい訓」今年も心温まる作品が寄せられました。昨年に引き続き今年もコロナに振り回される一年となりましたが、そんな中でも、各家庭ではささやかで温かなふれあいや幸せがあるのだということを、一つ一つの作品から感じ取ることができました。応募する側としては、毎年頭を悩ませるちよつと面倒な課題ではあるのですが、この取り組みを通して、改めて家族との関わりや繋がりについて振り返ったり、家族についていいあとと感じたりすることができそうです。

しかし、残念なことに今年の応募作品数はわずかに十数点ほどでした。来年はより多くの作品が寄せられることを願うのと同じ時に、どうして応募数が少ない

のか、どうすればもつと多くの方が参加したい取り組みになるのかを考えていくことが、今後の研修委員会の役割の一つになつていくのではないかと感じました。

「郡P研究大会」の参加についても同じことが言えます。せっかくの価値ある活動も参加してもらえなければ意味がありません。時代の流れにに応じて一つ一つの活動を見直し、工夫を凝らすことで、今後の活動がより多くの方に参加してもらえるものになつていくことを願っています。

最後に、今年度活動を支えてくださった先生方、研修委員会の皆様、保護者の皆様、二年間ありがとうございました。

生活指導の活動について

生活指導委員長 松田 あかね

今年度も、「新型コロナウイルス」の影響により、祇園祭が神事等に限定して行われました。そのため、生活指導委員としての活動ができませんでした。

来年は、コロナウイルスが落ち着き、様々な行事が制限なく行われるように願っています。

最後に、先生方、生活指導委員会の皆様、保護者の皆様、二年間ありがとうございました。

一年間を振り返って

広報委員長 渡部 美希

昨年よりコロナウイルスの影響が落ちつき、広報委員会の会議も学校で話し合いが出来ることになりました。とは言え、まだまだコロナ禍のいろいろな不安は完全に無くなったとは言えません。この一年間、子供たちがどのようにして学校生活を楽しんでいたのかが伝わるように会報誌を作成してきました。しかし、お忙しい先生方にほとんどお願ひしてしまい申し訳なく、それでも「大丈夫です。」と言ってくださった言葉に甘えてしまい、本当に感謝しかありません。

子供達の活動や学校生活の内容は、ホームページでも見る事はできますが、改めて会報誌を読み直すと違う見方で学校の様子がわかり、大事な事なんだと思う気持ちになります。これからは、少しでも笑顔が増える会報誌になればと思います。

最後に、先生方、保護者の皆様、一年間ありがとうございました。



3年生の先生方より

がんばったみんなへ

古川 晃

たつた一度の中学時代のこの年に、やっぱりコロナは猛威をふるった。ようやく見えてきた出口に、希望の光も感じた。

我慢を強いられた3年間だったけど、「こんな災いに負けてたまるか!」この精神でみんなは成長してきた。

部活動の大会が普通に行われた。3年ぶりの東京修学旅行が実現した。本来の下中祭が戻ってきた。

もちろん、うまくいかないこともたくさんあった。悩んだり、苦しんだり、怒ったり、自分を責めたり。

それでいいんだ。それがいいんだ。人生それがあたりまえ。苦しい思いをするから優しくなれる。けつておくびょうにならず、しらないであきらめずに、どんどんチャレンジしていくんだ!

みんなは無数の可能性を秘めている。ほんとうに頑張った36

人の仲間たち。

これからも仲間を信じ、自分を信じ、自分らしさをいつそう磨こう!

みんなのますますの成長と活躍を祈る。そして楽しい人生を送ってほしい。

Lovepeace

中島 史弥

〓卒業おめでとう〓
3年生と過ごした2年間は、長いようであつという間の2年間でした。

思い返すといろんなことがありました。

私の一番の思い出は、3年生の文化祭です。合唱前にみんなでした円陣や有志発表を盛り上げようと、ステージに上がっていない人も一丸となつて、歓声をあげ学校全体を盛り上げる力強さとエネルギーを感じました。

ただ、そこに至るまでもたくさんの苦労があつたことも忘れていません。文化祭に対する思いや方向性の違いから、衝突がいくつもありましたね。

卒業によせて

室井 温子

3年生のみなさん、〓卒業おめでとう〓
四月に初めて会って生活の様子を見ていく中で、個性豊かでもパワフルだな、と感じていました。いろいろな場面で自分たちの思いや考えを伝えたい、という強い意志を感じました。

私にとってみなさんとの一番の思い出は修学旅行です。一緒に行くのは古川先生じゃないの?という疑問や不安の見える三十六名の中、出発してからもドキドキが止まらなかったのは私だけかもしれません。あの三日間のおかげでみなさんのことをそれまで以上に知ることができました。

さまざまなことを通して大人になろうとしているみなさんと過ごす日々は、とても勉強になりました。

なりました。これからのみなさんの活躍を祈っています。

卒業生へ

蛭田 真衣奈

〓卒業おめでとう〓
みなさんの美術を担当しはじめたのは、一年生の一月からでした。当時から今まで、ずっと活気あふれ、賑やかで楽しい美術室でした。私の教員生活の始まりにみなさんに出会えたこと、とても誇りに思います。

最初の遠近法の授業では、たくさん準備していったのに「分かりません」の声が連続して焦りました。未熟さを痛感し、木製ハンガーの制作ではいつそうの予習をしたにもかかわらず、いざ彫刻をするとき、疲れました。ポスターはなかなか完成しなくて、昼休み、一緒に絵の具で色を作りましたね。振り返ると、私には学びにあふれた二年三か月でした。みなさんには、どんな中学校生活でしたか?

私は中学を卒業してしばらく経ちますが、毎日が学びの連続です。これからもみなさんの時間を糧に学び続けたいと思います。たくさんのお礼をくれて、ありがとう。私との時間を過ごした中で、みなさんにも何か気づきがあれば嬉しいな、

と思います。



【特集】

子から親

へのメッセージ

ふだんはなかなか
言えないけれど、ちよっぴり本音を伝えよう

▼母さん、これまで僕のため
にいつも朝僕を起こして朝
食を作って、学校まで送り
迎えをしてくれてありがとう。
これからはなるべく母
さんの家事を手伝うように
頑張ります！ 阿部大知

▼いつもありがとう。今ま
でいっぱい迷惑かけたけ
ど、これからはほんとに
たくさん迷惑かけると思
う。けど、高校頑張るか
ら、あと何年かは迷惑か
けさせてね。いつも仕事
お疲れ様。ありがとう。
お母さんの子でよかつ
た。これからもずっとよ
ろしくね。 阿部真香珠

▼十五年間毎日、応援して
くれたり支えてくれてあり
がとうございました。家族の
みんなに支えられて、いろ
いろなことをがんばりまし
た。これからはがんばりま
す。応援よろしく願いま
す。 五十嵐皇太

▼いつも部活の練習や大会の
時に朝早くから送迎をし
たり、遠い所まで応援に

来てくれたりしてありが
とう。好きな部活に力を
入れて、充実した時間を
過ごせました。これから
も迷惑をかけてしまうこ
ともあるけどよろしくお
願いします。 板橋祐奈

▼いつもご飯を作ってくれた
り、洗濯をしてくれたりし
てありがとうございます。
いまでも苦勞を掛けたか
もしれないけど、これから
も苦勞をかけるかもしれな
いので、よろしく願いま
す。 稲本圭吾

▼十五年間ありがとうござい
ました。一番近いところ
で支えてくれて本当にう
れしかったです。今まで
たくさん迷惑や心配を
かけてきて大変だったと
思うけど、これからも一
番近い場所を支えていて
ください。よろしく願
います。 大竹稜

▼学校の登下校、大会、公
文、テスト、色んな送り
迎え有難う御座いまし
た。英検や数検を受ける

時や部活動の大会の時に
励ましてくれるのが嬉し
かったです。高校でも宜
しく願います。

（▽▽） 小椋涼子

▼お母さん、三年間ありが
うございました。この三
年間で、体調不良や自
分が病んでいたり大変
な三年間でした。この三
年間で色々ありまし
たが、いつもそばにい
てくれてありがとうござ
いました。 君島咲人

▼今まで色々なことに興味
があった私にたくさん挑
戦できる機会をくれて、
すごくうれし、とても
良い経験ができました。
本当にありがとうござ
いました。十五年間いろ
ろなことがありました
が、これからもよろしく
願います。 齋藤心羽

▼いつも家に帰ったら喧嘩で
お母さんが大変じゃない
日はなかったかもしれま
せん。でもここまで育
ててもらってとても感謝
しています。高校ではた
くさん勉強して親孝行で
きように頑張ります。ま
だまだ迷惑かけると思
うけど、これからもよろ
しく願います。 斎藤優奈

▼お父さん、お母さん十五
年間育ててくれてありが
う。今まで支えてきて
くれたことに感謝してい
ます。これからはあまり
迷惑をかけないように頑
張ります。これからもよ
ろしく願います。

酒井葉月希

▼十五年間、私を育ててく
れありがとう。何時も、
貴方の期待に応えるこ
とができず、迷惑ばかり
かけてしまいましたが
すみません。これからは、
部活だけではなく勉強に
一生懸命励んでいき
たいと思います。これ
からも応援よろしく
願います。 佐藤侑

▼十五年間、育ててくれて
ありがとうございます。受
験で怒ってしまったこと
もありましたがそんな時
も支えてくださって本
当にありがとうござい
ました。これからはよろ
しく願います。 佐藤佳利

▼中学校に入ってから、サ
ッカーの送迎や、塾への
送迎などをしてしてく
れました。中学校になっ
てからやりたいことが
たくさんでき、それに
とても協力してくれ
たのが両親でした。
ときには親子喧嘩し

たこともあったけど今
では感謝しています。

佐藤碧海

▼三年間ありがとうござ
いました。家族のおかげ
で楽しい三年間をおく
ることができました。こ
れからもよろしく願
います。 鈴木蓮

▼中学校の送り迎えや弁
当作ってくれたことな
ど、たまに当たり前だ
と思いつてしまふこと
もありました。しかし、
いやな顔一つせず、
自分のことをいつも
気遣ってくれたお母
さんには本当に感謝
しています。これから
迷惑をかけることも
あると思いますがよろ
しく願います。 露崎樹

▼僕は、この三年間は親
とあまり会話をしてい
ませんでした。しかし
僕自身話したくない
わけではなく、高校
生活で親に頼りた
くなったら頼りたい
と思います。これか
らもよろしく願いま
す。 二宮琉斐

▼私を今まで育ててく
れありがとうございます。
部活のとき、朝早く
ても送り迎えや
応援などしてく
れましてありが
うございます。

ます。これからもずっと
よろしく願います。

野矢充大

▼この三年間は特に喧嘩する
ことなく、自分でも一番
仲のいい親子だと思つて
ます笑。いろんなことを
教わったり学んだりしま
した。そのことをこれか
ら先、活かしていきたい
と思います。

藤原叶慎

▼十五年間ありがとうございます
いました。自分は助けら
れてばかりなので、いつ
か必ず恩返しをします。

星 快人

▼十五年間育てていただきあ
りがとうございます。こ
れからもよろしく願ひ
します。私もこれから
頑張ります。

星 奏人

▼中学校三年間を振り返
ると、とても両親に支えら
れた三年間だと感じまし
た。本校では寮に入り、
甲子園出場に向けて頑張
るので応援よろしく願ひ
します。

星 翔陽

▼十五年間、支えてくれてあ
りがとうございました。

星 結太

▼僕を今まで育ててくれてあ
りがとうございます。受
験だけどゲームばかりし
てごめん。次は、頑張
りたいと思います。

星 眞斗

▼お母さん十五年間育ててく
れてありがとうございます。剣道の
大会や勉強などで毎日支
えてくれた事に感謝の気
持ちでいつぱいいます。高
校生になりまたいろいろ
と迷惑をかけるかもしれ
ないけど、これからもよ
ろしく願ひします。

星 結太

▼今までありがとうございます。毎日
部活や勉強の手伝いをし
てくれてすごく助かった
よ。そのおかげでとても
楽しく過ごすことが出来
ました。これからもちろ
さんサポートしてね。

松田結翔

▼十五年間ありがとうございます
松矢夏月葵

いました。今までたくさ
ん迷惑をかけてきました
ね。おいしいごはんを毎
日ありがとうございます。
また、毎日のサッ
カーの送迎などもありが
とうございました。たく
さんのわがままを聞いて
くれてありがとうございます
ました。将来必ず恩返し
するからね。これからも
よろしく願ひします。

室井太我

▼いつも僕を支えてくれて
ありがとうございます。
家族の支えがあつて毎日
楽しい生活を送れていま
す。これからはもっと家
族の支えが必要になるの
で、毎日感謝の気持ち
をもつて生活したいです。

室井太我

▼十四年間、支えていた
き、ありがとうございます。
家族からの応援が自分
の力となり、全力で活動
することができました。こ
れからも、たくさん迷惑
をかけると思いますが、
よろしく願ひします。

湯田愛香

▼十五年間ありがとうございます。
とても楽しく生活できま
した。これからも迷惑か
けるけど高校に行つても
よろしく願ひします。

湯田愛香

ろしく願ひします。

弓田 歩

▼十五年間、育ててくれてあ
りがとうございます。今
まで、たくさん迷惑をか
けてきたけど、それでも
向き合ってくれたので嬉
しかったです。まだまだ
迷惑をかけることがある
と思うけど、応援願ひ
します。

渡部 葵

▼十五年間支えてくれてあ
りがとう。けんかしたこと
もあつたけど、いつもた
めになることや経験から
いろいろなことを教えて
くれてありがとうございます。
これからもたくさん迷惑か
けると思うけど、これか
らよろしく。

渡部 皓大

▼十五年間、育てていただき
ありがとうございます。
これからの、たくさん親
に頼つてしまふ大変な時
があるかもしれない。
でも、僕も勉強だつた
り、運動だつたり、他の
ことも頑張るので、これ
からもサポートよろしく
願ひします。

渡部 永遠

▼十五年間沢山支えてくれ
てありがとうございます。
私は沢山の迷惑をかけて
しまう時がありました。
それでも優しい言葉をか
けてくれたりヒントを与

渡部 永遠

えたりしてくれて、とても
感謝しています。これか
らもよろしく願ひしま
す。

渡部 瑞貴

▼私を今まで育ててくれてあ
りがとうございます。受
験で、イライラしてしま
う時がありそのたびに家
族に当たつてしまうこと
がありました。そんな時
でも自分のことを支えて
くださつて本当にありが
とうございます。これか
らも迷惑をかけますが、
よろしく願ひします。

渡部 大和

▼私を今まで育ててくれてあ
りがとうございます。受
験で、イライラしてしま
う時がありそのたびに家
族に当たつてしまうこと
がありました。そんな時
でも自分のことを支えて
くださつて本当にありが
とうございます。これか
らも迷惑をかけますが、
よろしく願ひします。

渡部 大和





フォトギャラリー



編集後記

たくさんの方のご協力をいただき、下郷中PTA会報第96号を無事に発行することができました。

子から親へのメッセージでは、普段なかなか聞くことができない子供たちの言葉が、気恥ずかしさを感じながらも心に響く素敵なものばかりでした。下中で過ごした三年間を思い出しに新しい世界へ旅立とうとしている子どもたちに、心からエールを贈ります。

最後に、今年度も一年間下郷中PTA会報をお読みいただきありがとうございました。